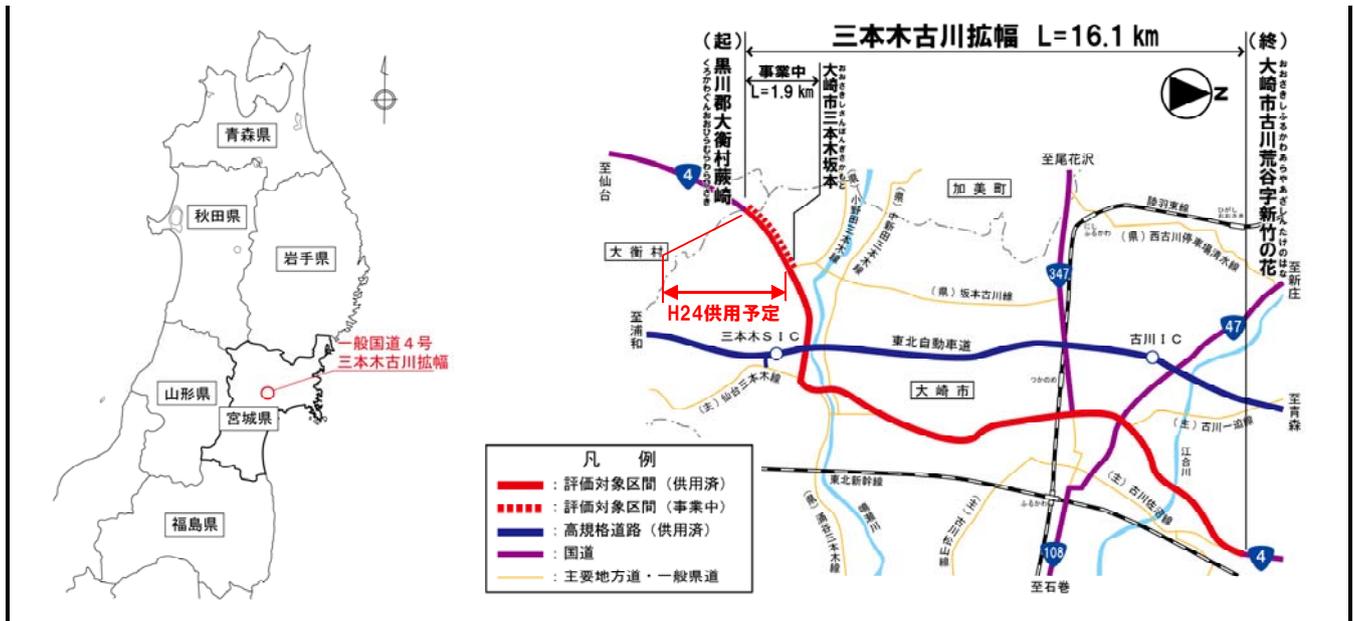


再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道4号 <small>さんぼんぎふるかわ</small> 三本木古川拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県黒川郡大衡村 <small>くろかわぐんおおひらむらわらびさき</small> 蕨崎 至：宮城県大崎市古川荒谷字新竹 <small>おおさきし ふるかわあらやあざしんたけ はな</small> の花	延長	16.1 km		
事業概要					
<p>一般国道4号は、東京都中央区を起点とし、福島市、仙台市、盛岡市等の東北地方の主要都市を經由し、青森県青森市にいたる延長約874kmの主要幹線道路で、東北の政治経済、文化の発展に大きな役割を果たしている重要路線である。</p> <p>三本木古川拡幅は、大衡村から大崎市間の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした4車線拡幅事業である。</p>					
S41年度事業化		S58年度都市計画変更		S42年度用地着手	
S43年度工事着手					
全体事業費	231億円	事業進捗率	99%	供用済延長	14.2km
計画交通量	26,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/ (事業全体)	総便益 (残事業)/ (事業全体)	基準年	
	(残事業) 3.3	10億円/706億円 事業費：2.8億円/642億円 維持管理費：7.4億円/64億円	34億円/878億円 走行時間短縮便益：32億円/843億円 走行経費減少便益：1.2億円/29億円 交通事故減少便益：0.63億円/6.6億円	平成23年	
感度分析の結果					
<p>【全体事業】 交通量変動：B/C=1.5~1.2 (交通量 ±10%) 【残事業】 B/C=4.4~2.1 (交通量 ±10%)</p> <p>事業費変動：B/C=1.2~1.3 (事業費 ±10%) B/C=3.1~3.4 (事業費 ±10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=1.2~1.2 (事業期間 ±20%) B/C=3.3~3.3 (事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保 (現道等の年間渋滞損失時間の削減) ・災害への備え (東北縦貫自動車道が通行止となった場合の代替路線を形成する) 他9項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○宮城県知事の意見 継続実施に異議はありません。</p> <p>○以下の団体等から、三本木古川拡幅の整備促進について要望あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県大崎市長 ・国道4号拡幅改良（4車線）建設促進期成同盟会（大崎市長、大衡村長 他2団体） 					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
事業進捗率99%（うち用地進捗率100%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
平成20年度の再評価以降、事業進捗に係る問題はなく、順調に事業を進めている。					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・新技術の活用によるコスト縮減を図る（L型側溝にスリップフォーム工法を採用）。 ・長尺製品を採用し、コスト縮減を図る（歩車道境界ブロックに経済的な長尺製品を採用）。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。